12月定例会を振り返って

会派の意見

市民クラブ

子ども・子育て支援新制度へ　高知市は全力投球を！

竹内千賀子議員は、南海地震対策や保育士不足による待機児童解消のための賃金・処遇改善、食物アレルギー対応の調理員の加配等を中心に代表質問を行う。待機児童対策は最優先課題であり、臨時保育士の賃金改善は重要。食物アレルギー対応については、一定の基準を定め、加配職員の配置について検討を進めているとの答弁を得た。

岡﨑邦子議員は、安保関連法および伊方原発再稼働について、市長に人としての姿勢を問う。また、厳しい環境で学ぶ本市の中学生に対する「学力向上」の取り組みについて、中でもチャレンジ塾の存在価値を評価し、さらなる拡充を求めた。

長尾和明議員は、自転車競技の競技力向上について問う。また、南海地震対策に関し、不足する収容避難所の確保策については、定住自立圏を形成する南国市、香美市、香南市と協議を進めているとの答弁があった。

岡﨑豊議員は、資金収支の健全性、自立性、行政効率の状況から、今後の事業計画における財政面での整合性を求めた。

また、高知西高校の国際バカロレアの認定準備に触れ、松原教育長は「子どもたちの学習意欲が向上し、意義深い」と答弁した。

新風クラブ

事業運営力に疑問有り、指定管理者議案に反対票を投じる！

・代表質問　**中澤はま子**議員

良質な石灰石産地の本市において、既存鉱山の枯渇が懸念される中、鏡地区の新たな石灰鉱床の開発についてただした同議員に対し、市長は「指摘のとおり、鉱床開発で発生する大量の土砂は、南海トラフ地震で被災した堤防の復旧や地盤沈降の埋め戻しにも役立つ。産業振興に加え、災害復旧の面からも重要であり、県と連携して支援する必要がある」と答えた。

・個人質問　**吉永哲也**議員

鏡地区における保育所と幼稚園の認定こども園化について、執行部は「同地区では、既に保育所と幼稚園が行事運営などで連携しており、認定こども園となる可能性は十分にある。今後、保護者や地域住民の理解を得ながら検討していく」と答えた。

・個人質問　**水口晴雄**議員

小中学校の校区見直しの進捗状況について、教育長は「検討委員会は2月に報告書をまとめる予定だが、小学校は12学級以上、中学校は6学級以上を目指すとともに、一つの小学校から同じ中学校へ進学する校区割りが望ましい」と答えた。

日本共産党

子ども医療費小学卒まで無料へ、道のない所に「道の駅」追及

市長選の争点や会派の来年度予算要望事項に基づき、代表質問に**迫哲郎**、一般質問に**浜口佳寿子**、**はた愛**、**細木良**、**岡田泰司**の各議員が登壇。

厳しい財政運営と言いながら今後の財政計画は示さず、新庁舎や東部総合運動場多目的ドームの建設等大型事業が急増したことを指摘。市民負担増で改善した財源は、まず暮らし充実に回すよう求めたが、子ども医療費無料化は平成28年10月から小学校卒業まで拡充するものの、市長選で言及した中学校卒業までは、希望であり公約ではないと否定。高すぎる国保料減免は国の責任と冷たい答弁。都市計画マスタープランの改ざんや事業主不在の官民連携など特定業者が調査区域の約9割を所有する浦戸「道の駅」構想の問題が浮き彫りに。介護保険法改正に伴う訪問・通所介護等の新総合事業への28年10月移行で必要なサービス確保と、公共調達条例に基づく賃金下限額が低すぎて、条例の効果が発揮されていない問題の早期改善を求めた。マイナンバー施行に対し、市民に不利益とならない取り組みを要望。

公明党

岡﨑市政４期目に政策提言　市民生活を守る公明党の主張

代表質問に立った**山根堂宏**議員は、４期目の市長の施政方針について質問を行い、将来を見通した財政運営と時代に即応した特色ある政策展開を求めました。

髙木妙議員は、津波避難ビル指定の高さ要件の見直しについてただしました。今後は、一定の要件を満たした上で、ガイドラインの見直しが図られることとなりました。

大久保尊司議員は、マイナンバー制度において、市民に負担を生じさせない取り組みを求め、十分配慮するとの答弁を得ました。

伊藤弘幸議員は、かねてからの課題である鉛製給水管撤去について質問。上下水道局から、所有者への情報提供を検討するとの答弁を得ました。

寺内憲資議員は、御畳瀬地区に保安上危険な空き家が多いことから、行政代執行も見据えたスピード感のある対応を市長に求めました。

新こうち未来

自由民権記念館　指定管理者選定議案に反対。地元企業の育成を！

今定例会に提出された自由民権記念館指定管理者選定議案に反対。代表質問、経済文教委員会および本会議における採決と、一貫してその疑義を唱えた。公平公正な選考の結果、県外企業が選定されたということであるが、高知市が地元企業に対する研修など、育成面を長年怠った状態で本議案を提出してきたことへの警鐘であった。今後は現状に満足せず、市民とともに向上を目指す組織へと変革することを期待する。

代表質問では、会派代表の**戸田二郎**議員が、旭町付近の狭い国道の改良や教員異動調書の不祥事問題を指摘した。個人質問には**氏原嗣志**議員、**川村貞夫**議員、**福島明**議員、**浜口卓也**議員の会派全員が登壇した。

みどりの会

近森議員の質問に成果が続々

ふるさと納税が２億円を超える。残業手当５８０万円を指摘する。大型映像装置の整備を決定する。日曜市への新規出店が可能に。土佐の上海蟹ツガニを市が支援。生鰹の店舗を観光客にアピール。自動販売機の契約変更で利益増。ＳＮＳ教育でスマホの達人育成。